

みんなの財政

～平成26年度決算～



平成27年10月



はじめに

皆様は、「財政」という言葉にどんな印象をもたれるでしょうか？
「よくわからないけど難しそう」「金額が大きすぎてわかりにくい」という方もいらっしゃると思います。

本書は、皆様に、本市の「財政」に興味をもっていただき、理解を深めていただけるよう、市民1人あたりの金額におきかえたり、税金の用途が見える化するなど、わかりやすさを重視して作成しています。

1人でも多くの方にお読みいただき、本市の財政運営にご理解とご協力をいただければ幸いです。



もくじ

1 「財政」って何？	1
2 市の収入と支出	2
3 税金のつかいみち	4
4 平成26年度のトピックス	10
5 借金と貯金	12
6 これからの財政	15
7 お問い合わせ先	18

本書では、主に**平成26年度決算**の数値を使って説明します。
また、市民1人あたりの金額を算出する際は、
平成26年度末の人口（962,554人）を使っています。

※四捨五入の都合上、合計等が一致しない場合があります。



1 「財政」って何？

① 「財政」って何…？



「財政」とは、わかりやすく言うと「**お金のやりくり**」のことです。家庭では、給料をどのようにやりくりするかを考えていると思います。市でも、皆様に納めていただく税金などを活用して、必要性や優先度を考え、何にどれくらい使っていくか、というやりくりをしています。なお、行政機関では、このやりくりを、原則、年度ごとに行います。

お金のやりくりが「財政」なのね
わたしたちの家計のやりくりと一緒にね

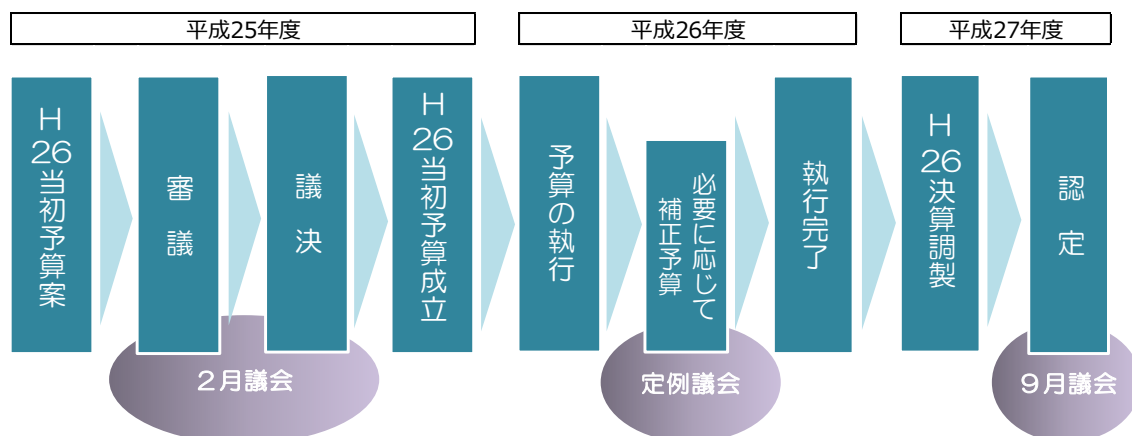


② 「予算」と「決算」って何…？

「予算」とは、お金のやりくりの「計画書」です。市では、新年度に向けて1年間の予算案を作り、2月議会でチェックを受け、承認されると正式な予算になります。新年度の予算を当初予算、年度途中で当初予算を変更した予算を補正予算といいます。「決算」とは、お金をやりくりした結果の「成績表」です。予算と同じように、9月議会でチェックを受けています（図表1）。

【図表1】 予算から決算までの流れ

(平成26年度予算・決算の例)



2 市の収入と支出

① 市の収入はどれくらい？

平成26年度決算の一般会計総額で 3,794億円 です。
市民1人あたりでは **39.4万円** になります。

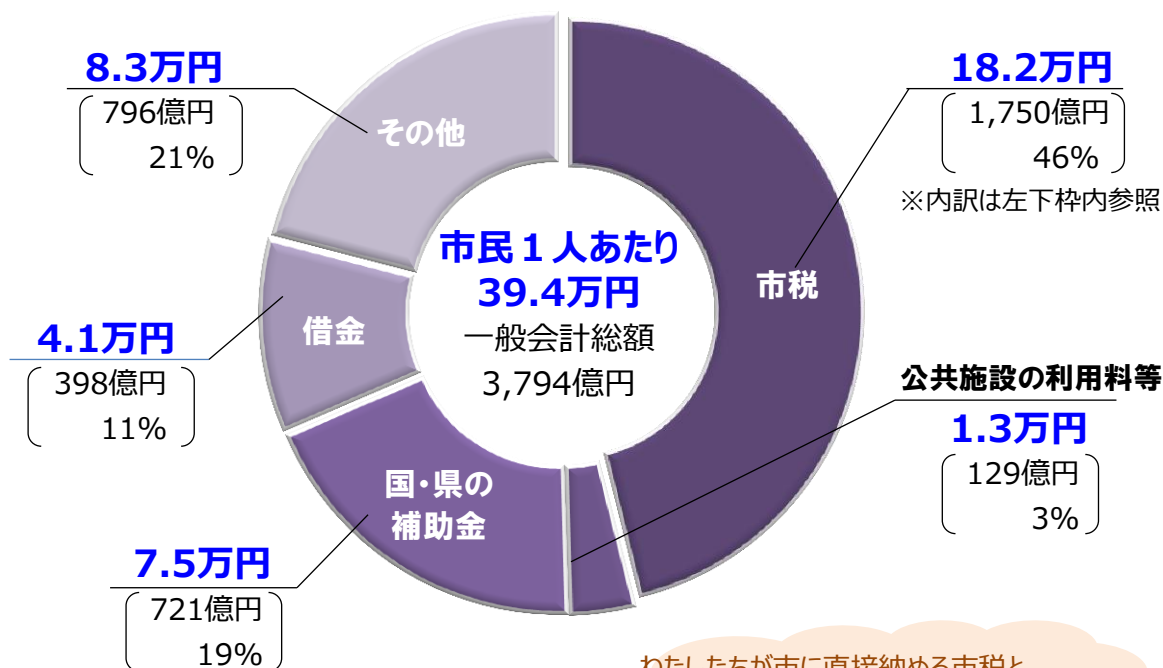
② どんな収入があるの？

市の収入の根幹であり皆様に納めていただく市税をはじめ、公共施設の利用料や国・県からの補助金などがあります。そのほか、不足部分は、やむを得ず借金をしながら、何とかやりくりをしています。

なお、国・県からの補助金も、皆様に納めていただく税金が基になるので、行政運営のほとんどが、税金でまかなわれることとなります。

【図表2】市の収入（H26決算）

※金額は**市民1人あたり**（カッコ内は総額、構成比）



【参考】市税18.2万円の内訳

	金額 (万円)	構成比 (%)
市民税	8.7	48%
固定資産税	6.8	38%
都市計画税	1.3	7%
市たばこ税	0.8	4%
その他	0.6	3%

わたしたちが市に直接納める市税と、
公共施設の利用料で全体の半分になるのね。
借金がけっこうあるのが気になるわね…

※借金については、12ページで
詳しくご紹介します。



③ 市の支出はどれくらい？

平成26年度決算の一般会計総額で **3,761億円** です。
市民1人あたりでは **39.1万円** になります。

④ どんなことに支出しているの？

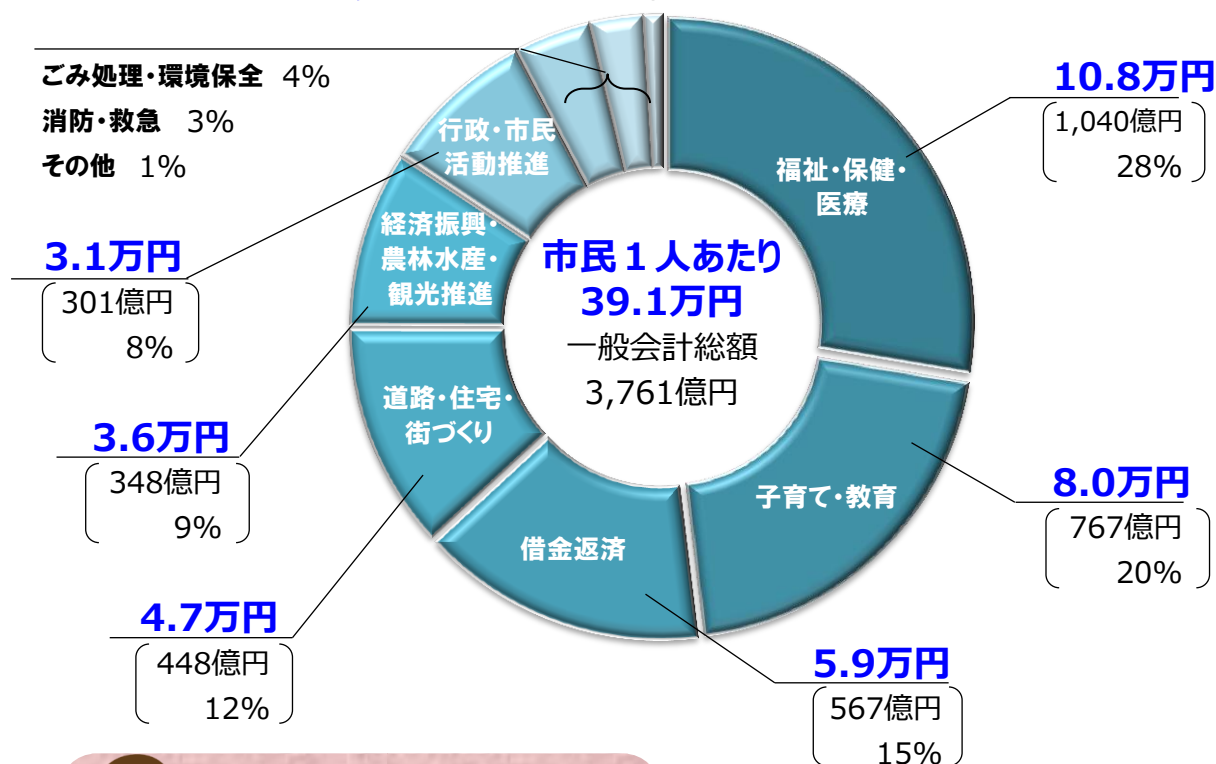
高齢者介護や生活保護などの福祉・保健・医療や、保育所運営などの子育て支援・教育に関する支出で、全体の48%を占めています。

次に、過去に取り組んだまちづくりのための借金の返済が15%を占め、高い割合となっています。

このほか、道路の維持管理や経済振興など、支出先は多岐に渡ります。

【図表3】市の支出（H26決算）

※金額は**市民1人あたり**（カッコ内は総額、構成比）



ちょっと財政健全化

市の宝くじ収入をご存知ですか？金額は、平成26年度決算で約28億円です。

宝くじ販売総額の**約40%は市の収益金**となり、少子高齢化対策、防災対策、教育・社会福祉施設の整備などに使われます。収益金は、**市内の販売実績に応じて配分**されるので、市内の売り場で宝くじをご購入いただくことで、市の財政健全化につながります！

3 税金のつかいみち

① 税金のつかいみちをもっとわかりやすく教えて！

ここからは、皆様になじみのある事業や制度について、税金がどの程度使われているか、わかりやすい数字に置き換えてご紹介します。



(補足)

- ・H26年度歳入歳出決算の数値を用いています。
- ・数値の表記は、表示単位未満等を四捨五入しています。
- ・国・県からの補助金などの特定財源を除く一般財源を「税金」と表記しています。

高齢者の介護（介護保険制度）



事業の内容

介護保険制度に基づき、訪問介護(ヘルパー)などの介護サービスを提供しています。介護サービス費用のうち、原則9割分を介護保険で負担し、利用者負担は1割です。費用は、加入者の保険料や国・県からの補助金のほか、税金でまかなわれています。

基礎データ

介護保険被保険者

23万人

※H26年度末時点

要支援・要介護認定者

3万5千人

※H26年度末時点

介護保険全体の費用

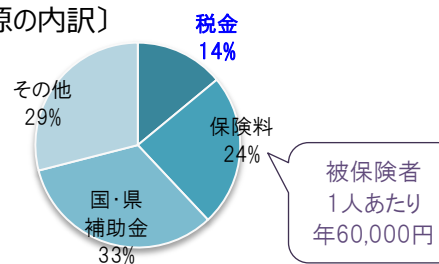
561億9千万円

※介護保険事業特別会計歳出決算

わかりやすい数字に置き換えます

要支援・要介護認定者 1 人あたり、
158.9万円 の費用がかかりました。
この費用には、市民 1 人あたり、
8,300円 の税金が使われています。

〔財源の内訳〕



ちょっと財政健全化



市では、町内自治会などが行う「健康づくり」の取り組みを応援しています。介護を必要とする人を、1自治会あたり1人減らすことができると、年間**約17.3億円**の費用が削減され、1人あたりの保険料も**年1,800円安**くなります。健康を維持できれば、保険料負担も減らすことができ、一石二鳥です！

生活保護と自立支援

事業の内容

病気やケガ等何らかの事情により収入が途絶えるなどで、世帯の収入が国が定める最低生活費を下回る場合に、その不足額を保護費として支給します。

市では、自立に向けた就労支援や、貧困の連鎖を断ち切るために生活保護受給者のお子さんへの学習支援などに取り組んでいます。

費用は、国・県からの補助金が7割を占めるほか、税金でまかなわれています。

基礎データ

生活保護受給者数 19,800人

世帯数 15,200世帯

※H26年度平均

就労者数 884人

学習支援参加者数 延べ3,260人

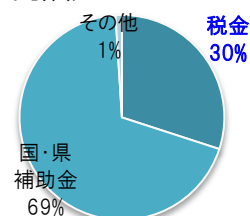
総費用

353億7千万円

わかりやすい数字に置き換えます

生活保護受給者1人あたり、
178.8万円 の費用がかかりました。
この費用には、市民1人あたり、
10,900円 の税金が使われています。

〔財源の内訳〕



国民健康保険



事業の内容

会社等の健康保険に未加入の方は、市の国民健康保険に加入します。

保険診療分の原則7割分を国民健康保険で負担し、患者負担は3割です。

費用は、加入者の保険料や国・県からの補助金のほか、税金でまかなわれています。

基礎データ

国民健康保険被保険者

25万3千人

※H26年度平均

医療の給付

延べ399万件

国民健康保険全体の費用

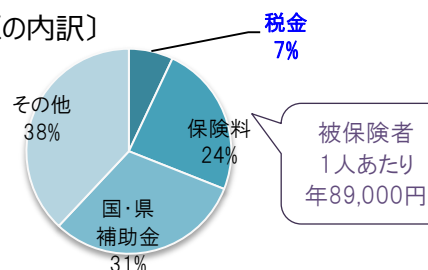
949億3千万円

※国民健康保険事業特別会計歳出決算
(単年度)

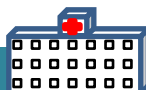
わかりやすい数字に置き換えます

被保険者1人あたり、
37.5万円 の費用がかかりました。
この費用には、市民1人あたり、
6,500円 の税金が使われています。

〔財源の内訳〕



市立病院の運営



事業の内容

市では、青葉病院と海浜病院の2つの病院を運営しています。
青葉病院は救急医療の充実に、海浜病院は小児・周産期医療の充実に取り組んでいます。

運営費用は、保険者や患者からの医療収入でまかなわれるほか、救急医療の費用の一部などは、国のルールに基づき税金でまかなわれています。

基礎データ

入院患者 延べ17万人
外来患者 延べ34万5千人

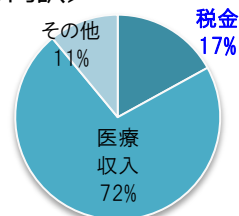
医師136人、看護師604人
医療技術員144人
※H26年度末時点

運営費用
202億5千万円
※収益的支出決算

わかりやすい数字に置き換えます

市民1人あたり、
2.1万円 の費用がかかりました。
この費用には、市民1人あたり、
3,600円 の税金が使われています。

〔財源の内訳〕



保育所・園の運営



事業の内容

保護者が日中就労などで、家庭での保育に欠ける児童を預かります。
市では、平成26・27年の2年連続で待機児童ゼロを達成しました！（詳細P.10）
また、平成27年4月からは、「子ども・子育て支援新制度」が始まり、子どもを預かる場所の選択肢を増やすなど、保育サービスを拡充しています。
運営費用は、主に税金と保育料でまかなわれています。

基礎データ

保育所・園の入所児童
13,274人
※H26.4/1時点

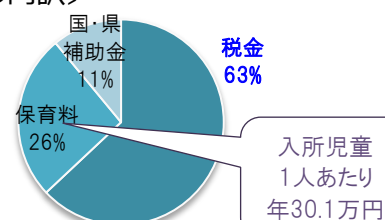
公立保育所 60か所
民間保育園 71か所
※H26.4/1時点

運営費用
154億8千万円

わかりやすい数字に置き換えます

入所児童1人あたり、
116.6万円 の費用がかかりました。
この費用には、市民1人あたり、
10,100円 の税金が使われています。

〔財源の内訳〕



道路の維持管理



事業の内容

道路の清掃や補修のほか、道路施設の点検を行っています。
維持管理費用は、主に税金でまかなわれています。

基礎データ

道路の長さ 3,300km
(うち市道 3,185km)

※H27.4/1時点

市道の舗装率
91.1%

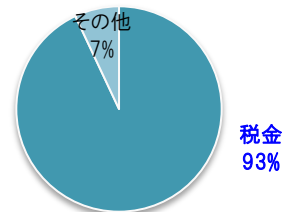
※H27.4/1時点

維持管理費用
20億6千万円

わかりやすい数字に置き換えます

市民1人あたり、
0.2万円 の費用がかかりました。
この費用には、市民1人あたり、
2,000円 の税金が使われています。

〔財源の内訳〕



イメージキャラクター
カワウソ一家



下水道には結構お金がかかっているんだね。
案外、知られていないかも…

下水道の維持管理

事業の内容

家庭や工場から排出される汚水を集めてきれいに処理したあと、汚泥は埋立やリサイクル、処理水は海への放流などを行っています。また、浸水被害を未然に防ぐため、雨水を集めて海への放流などもしています。

維持管理費用のうち、汚水の処理費用は下水道使用料でまかなわれていますが、雨水の処理費用など、国のルールに基づき税金でまかなわれるものもあります。

基礎データ

下水道処理可能人口 93万6千人
下水道処理人口普及率 97.2%

※H26年度末時点

下水処理場 3か所
ポンプ場 18か所

※下水処理場のうち1か所は県所有

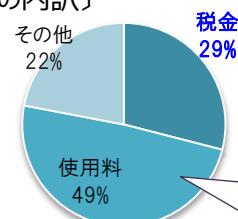
維持管理費用
289億1千万円

※収益的支出決算

わかりやすい数字に置き換えます

市民1人あたり、
3.0万円 の費用がかかりました。
この費用には、市民1人あたり、
8,700円 の税金が使われています。

〔財源の内訳〕



下水道処理可能
人口1人あたり
年15,200円

ごみの処理



「焼却ごみ削減」キャラクター へらそうくん

H26年度の焼却ごみ量は25万531トンで、
1/3削減目標(25万4千トン)を達成しました！
ご協力ありがとうございました！

事業の内容

家庭や事業所から排出された可燃ごみは、清掃工場で焼却し、残った灰は、主に最終処分場に埋め立てています。

また、平成26年2月から「家庭ごみ手数料徴収制度」を導入し、皆さまの協力をいただきながら、ごみの分別を徹底してごみ量の削減をすすめています。

処理費用は、税金のほか、家庭ごみや粗大ごみの手数料でまかなわれています。

基礎データ

家庭ごみ 21万トン
(1人1日あたり 599g)

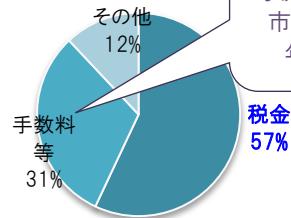
清掃工場3か所、リサイクルセンター1か所
し尿前処理施設1か所、最終処分場1か所

処理費用
136億3千万円

わかりやすい数字に置き換えます

市民1人あたり、
1.4万円 の費用がかかりました。
この費用には、市民1人あたり、
8,000円 の税金が使われています。

〔財源の内訳〕



手数料のうち、
家庭ごみ手数料
市民1人あたり
年1,300円



(注) ごみの処理経費は、環境省の基準ではなく、市の会計基準から算出しています。



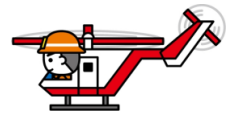
消防・救急活動

事業の内容

消防隊や救急隊、救助隊が皆様の命を守ります。

市では、消防車両のほか、消防ヘリ2機と消防艇1隻も所有しています。

活動費用は、主に税金でまかなわれています。



基礎データ

消防署・出張所 24か所
消防職員 967人

※H27.4/1時点

消防車126台、出動4,189件(うち火災300件)
救急車31台、出動52,957件

※H26年中

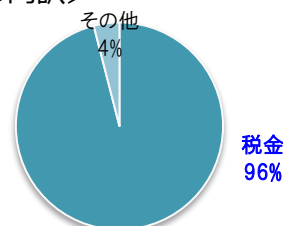
活動費用
98億5千万円

※消防団費用除く

わかりやすい数字に置き換えます

市民1人あたり、
1.0万円 の費用がかかりました。
この費用には、市民1人あたり、
9,800円 の税金が使われています。

〔財源の内訳〕





ちよつと財政健全化

市では、救急車の適正利用を呼びかけています。
市の救急車の出動件数は、**ここ5年間で約8千件増えています**(右表参照)。一方で、**救急搬送のうち約60%**が入院の必要がない**軽症の方**です。

救急車は限りある資源です。

救急車が必要な場合はどんなときなのかをみんなで学び、救急車が適正に利用されることで、かけがえのない命が1人でも多く救われることにつながります。

※ 市ホームページでは、救急車を呼ぶべき症状などをまとめたリーフレットを掲載しているので、ぜひご覧ください。

千葉県 救急車の適正利用

検索



千葉県消防局 TEL 043-202-1657



<救急車の出動件数>

	出動件数	市人口
H21	45,205	956,405
H26	52,957	964,595
増加率	17.1%	0.9%

※人口は各年12/1の推計人口

救急車の出動件数って、こんなに増えているのね。どんなときに救急車を呼べば良いか、言われてみれば良く分からないわ…

リーフレットを読んでみようつと！

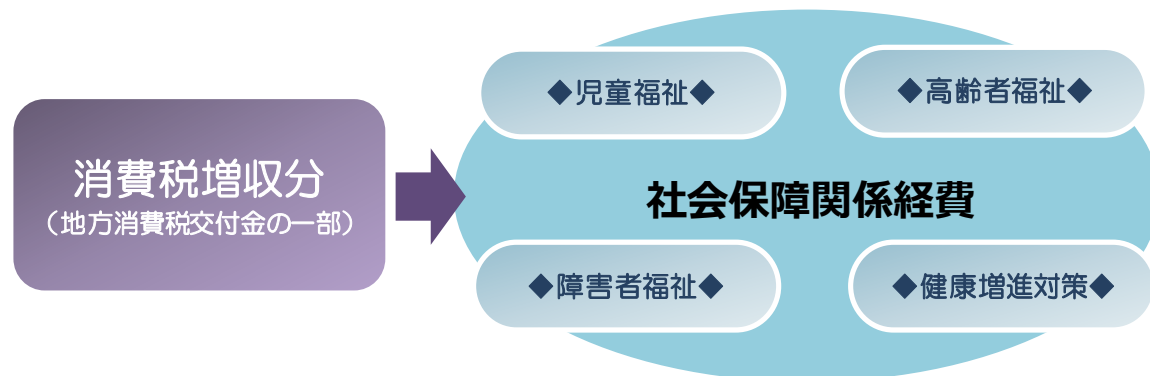


② 消費税の増税分は何に使われているの？

平成26年4月に5%から8%に引き上げられた消費税の増収分は、**社会保障に関する経費**に活用することが法律で決められています。

消費税8%のうち、6.3%が国、1.7%が地方に割り振られるため、消費税収入は市の収入の一部になります。（「地方消費税交付金」として、県から交付されます）

市では、この収入を、児童福祉や高齢者福祉施策などに活用しています。



4 平成26年度のトピックス

ここでは、平成26年度決算の中から、特に目玉となる取組をご紹介します。



2年連続 保育所待機児童ゼロ達成！

取組内容と成果

市では、子育て世帯を応援するため、保育所の待機児童対策を推進しています。平成26年度は、民間保育園の新設や認可外保育施設の認可化などで**1,027人分の定員枠を拡大**しました。

その結果、**首都圏政令市で初めて、2年連続で待機児童ゼロ**を達成しました！

かかった費用

※運営費を除き、整備費用のみで算出

●決算額 **5.2億円**

〔整備内訳〕

民間保育園	新設	6 か所	285 人
	定員変更等	4 か所	115 人
認可外保育施設の認可化		6 か所	213 人
小規模保育事業		17 か所	275 人
事業所内保育		5 か所	39 人
その他		2 か所	100 人
合計		40 か所	1,027 人

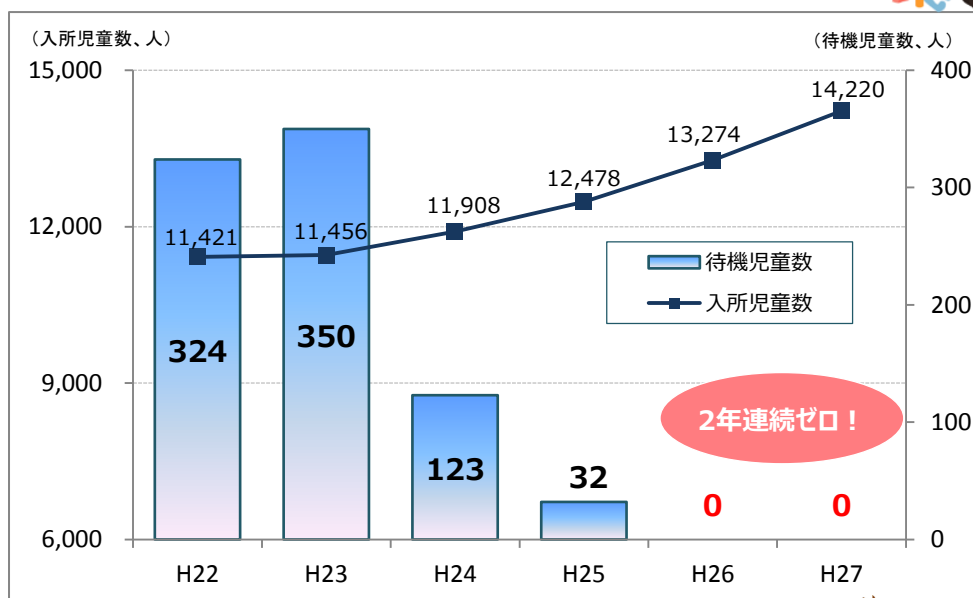


2年連続でゼロはすごいわ！
私も仕事に復帰したいから、
継続してほしいわね！



待機児童数等の推移

※各年度4/1時点



救急業務にICTを導入し搬送時間を短縮！

取組内容と成果

市では、事故や災害などでケガをした人や急病人に対して、病状に応じた応急処置を行いながら、医療機関へ迅速に搬送するよう努めています。

平成26年度は、**救急搬送時間の短縮を図り**、救命率向上と後遺症軽減をすすめるため、救急車両や医療機関に**救急情報共有システム**(タブレット端末を活用したリアルタイムの情報共有)を導入し、効果の検証を行いました。

その結果、現場から病院到着の時間を、**約2分短縮**することができました！

しくみのイメージ図



かかった費用

- 決算額 4百万円

〔タブレット端末配付内訳〕

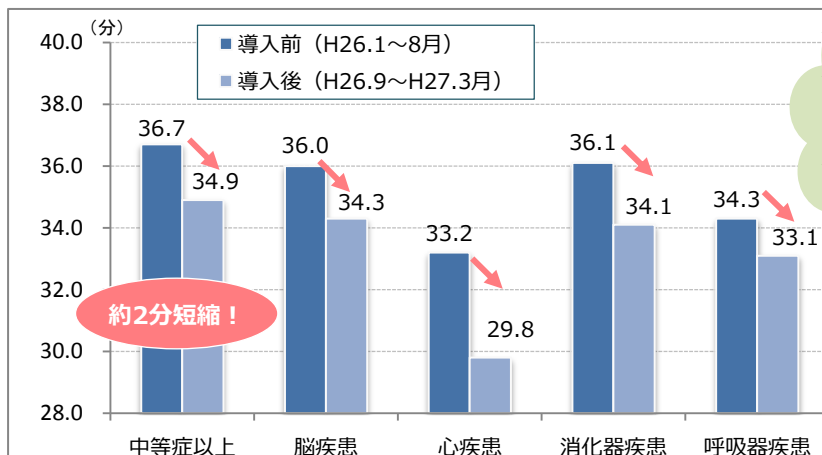
救急車	25 台
消防局、常駐医師	2 台
医療機関	23 台
合計	50 台



現場から病院までの搬送時間の推移

中等症以上(入院が必要なケース)全体では**約2分短縮**されました！

中等症以上の病状別を含めた結果は下図のとおりです。



救急現場では、1分の遅れで、救命率が10%低下する、と言われていました。救急現場の「2分短縮」は、非常に意義のあることです。



5 借金と貯金

① なぜ借金をするの？



家や車を買うときは、ローン（借金）を組むことがあると思います。市でも、大規模で長期間使う道路や建物の整備・改修をするときは、ローンを組んで（借金をして）います。このローンを**市債**といいます。もし、借金をしないで単年度の税金だけでまかなおうとすると、その年の財政を圧迫し、現在世代と将来世代の間の費用負担が不公平になってしまいます。

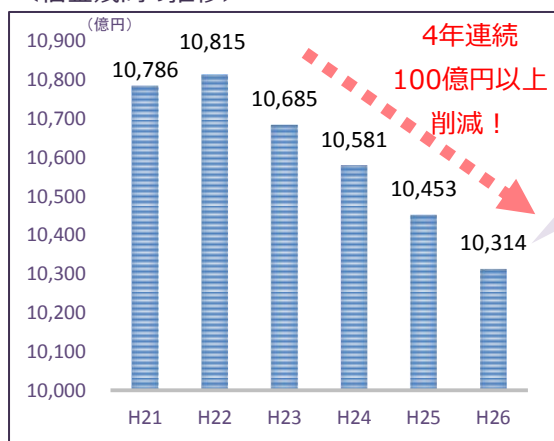
② どれくらい借金があるの？

平成26年度末の借金残高は**1兆314億円**、市民1人あたりで**107万円**です。これは、平成4年の政令指定都市移行後、住みやすい街とするために道路などの基盤整備に積極的に投資をしたことによるものです。

なお、近年では、借金の返済額以上のお金を借りないようにしたため、借金残高を**4年連続で100億円以上減らす**ことができました（図表4）。

【図表4】 借金と基盤整備の状況

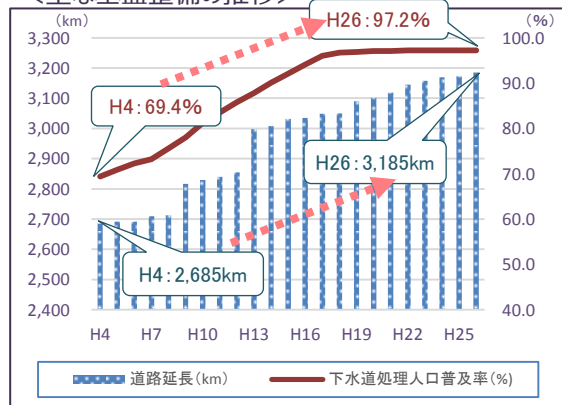
<借金残高の推移>



借金残高
市民1人あたり
107万円

まちづくりのためには借金も必要だったのね。借金を減らす努力はしているみたいだけど、まだまだ残高は多いわ…これからは使い道に気を付けないと！

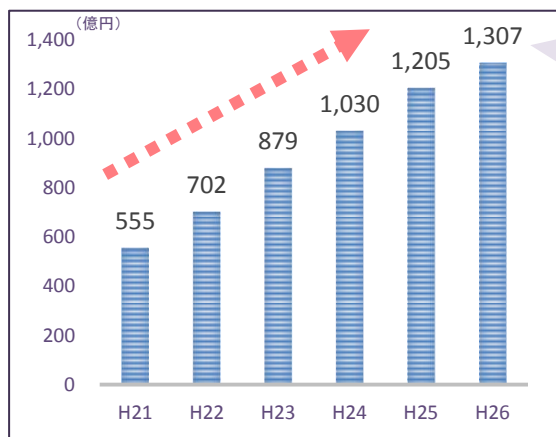
<主な基盤整備の推移>



③ 貯金はないの？

貯金もあります。これを「基金」といい、市には17の基金があります。平成26年度末の基金残高は**1,307億円**、市民1人あたりで**14万円**です。基金のうち「財政調整基金」は、収収が予定どおりに見込めずに収支不足となる場合など、いざというときのための貯金で、残高は37億円です。また「市債管理基金」は、借金の返済期限がくるまでの間に、将来的に借金を返済するための積立金を管理する基金で、残高は1,134億円あり、基金残高全体の9割近くを占めています（図表5）。

【図表5】貯金の状況



貯金残高
市民1人あたり
14万円



将来の借金返済のための積み立ては着実に進んでいます。ただ、これは使い道が決まっているので、**実質的な貯金は財政調整基金** (市民1人あたりで4千円)になります。

④ 借金が多いけど大丈夫…？



貯金と借金だけでは市全体の財産の状況が分からないので、市がもつ「資産」も合わせて考えてみます。市の資産には金融資産と非金融資産があり、資産の合計から、借金などの「負債」の合計を差し引いたものを「純資産」といいます。

純資産は総額**1兆7,312億円**、市民1人あたりで**180万円**です。
(図表6、平成25年度決算で算出)

【図表6】資産と負債の状況 (H25決算)

区分	金額		家計に例えると…
	(億円)	1人あたり (万円)	
資産合計①	29,766	310.2	
金融資産	1,408	14.7	
資金、基金への積立金	1,098	11.4	貯金
未収金、団体への貸付金	271	2.8	親戚や友人への貸付金
民間企業への出資金等	39	0.4	株式など
非金融資産	28,358	295.6	
土地、建物、道路	27,301	284.5	マイホーム
物品、車両、ソフトウェア	1,057	11.0	マイカー・家具・家電
負債合計(市債など)②	12,454	129.8	ローン残高
純資産 (①-②)	17,312	180.4	

借金は多いけど、資産もけっこうあるのね。負債を減らしながら、資産の有効活用をしていかないよね！



⑤ 他市と比較すると千葉市はどうか？

財政の健全性を表す指標として「**健全化判断比率**」があります。

これは、1年間の収入に対する赤字額や借金残高の割合を示した4つの比率の総称で、**数値が低いほど財政が健全**であることを示します。

平成26年度の健全化判断比率は、政令市ワーストとなる可能性が高いですが、引き続き国の基準(早期健全化基準)を下回っています。(図表7)

【図表7】健全化判断比率の状況

	比率の種類	説明	H26決算		早期健全化基準 (財政再生基準)
				対前年	
①	実質赤字比率	一般会計などの実質赤字額の、収入に対する割合	赤字なし	-	11.25% (20.00%)
②	連結実質赤字比率	すべての会計の実質赤字額の、収入に対する割合	赤字なし	△0.83%	16.25% (30.00%)
③	実質公債費比率	その年に支払った借金返済額の、収入に対する割合	18.4%	±0.0%	25.0% (35.0%)
④	将来負担比率	将来市が負担する借金残高等の、収入に対する割合	231.8%	△16.2%	400% (基準なし)

■ 早期健全化基準以上になると…

財政健全化計画を作り、自主的な改善努力が求められます。

■ 財政再生基準以上になると…

財政再生計画を作り、国などが関与して確実な再生が必要になります。

国の基準を超えると、市のイメージも悪くなりそうね…



健全化判断比率は、政令市ワーストとなる見込みですが、これまでの財政健全化の取り組みの効果は、着実に表れてきています。詳しくは、次ページ以降でご説明します。

6 これからの財政

① 市は財政運営でどのようなことをしてきたの？

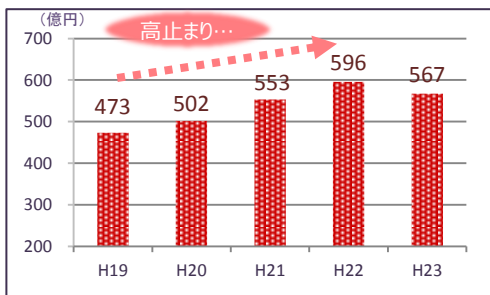
過去の街づくりのための借金の返済がピークを迎える中、市税収入の大幅な減少などが重なり、多額の収支不足が見込まれました。(図表8)

これまでのように、借金などに過度に依存した財政運営を続けると、**実質公債費比率が、早期健全化基準の25%を超える可能性がある**など、危機的な状況に直面しました。

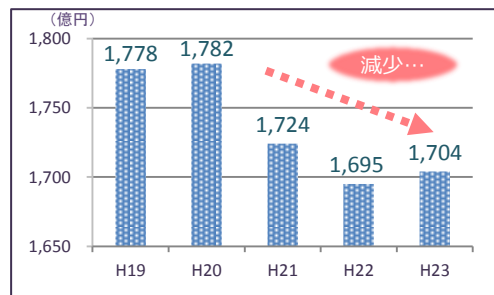
このため、「**脱・財政危機宣言**」(平成21年10月)を発するとともに、「**第1期財政健全化プラン**」(平成22～25年)を策定し、財政健全化に向けてさまざまな取り組みを行ってきました。

【図表8】 借金返済と市税収入の推移

＜借金返済の推移＞ (一般会計決算、性質別:公債費)



＜市税収入の推移＞



② プランでは具体的に何をしてどうなったの？

第1期プラン策定時に見込まれていた収支不足は、**収入を増やし、支出を減らす取り組み**によって、すべての年度で解消することができました。

また、実質公債費比率は、借金の使い道を厳選したことなどにより、**早期健全化基準を確実に下回り**、危機的な状況を脱することができました。

(図表9・10)

【図表9】 主な取り組みと効果

※数値はH21実績→H25実績で表記

■ 徴収対策を強化！

市税徴収率

92.3% → 94.6% (+2.3P)

国民健康保険料徴収率

69.3% → 73.6% (+4.3P)

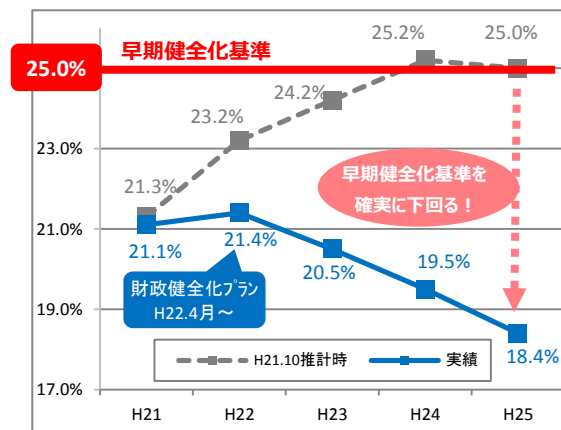
■ 借金の使い道を厳選！

市債残高(全会計)

10,786億円 → 10,453億円

(333億円削減)

【図表10】 実質公債費比率の推移



③ これからはどうしていくの？

第1期プランの取り組みによって、危機的状況を脱することができましたが、今後も市税収入は大きな伸びを見込めない中で、高齢者介護などの社会保障経費は増加の一途をたどるなど、**厳しい財政状況が続きます**。

このため、第2期財政健全化プラン(平成26～29年)では、市の財政運営に影響の大きい**4つの債務(主要債務総額)を減らすことを主要目標**として、引き続き財政の健全化に取り組んでいきます。(図表11)

【図表11】第2期財政健全化プランの主要目標

● 主要債務総額とは

以下の4つの債務の総額をいいます。

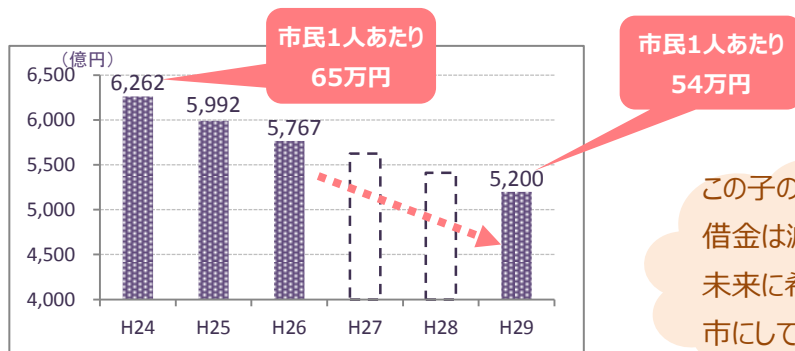
項目	説明	H24末残高
① 建設事業債等残高	インフラ整備や施設の大規模改修のために借り入れたお金です。	5,419億円
② 債務負担行為支出予定額	複数の年度にまたがって事業を行う場合の、将来の支出が予定されたお金です。	415億円
③ 基金借入金残高	収支不足を補うために、基金から借り入れたお金です。	312億円
④ 国民健康保険事業累積赤字額	国民健康保険事業特別会計の運営に関する累積赤字額です。	116億円

主要債務総額 6,262億円

● 主要債務総額の削減(主要目標)

平成24年度末の6,262億円から、**1,000億円の削減**を目指しています。

なお、平成26年度末は、平成24年度末から**約500億円削減**することができました！



ちょっと財政健全化

市では、「千葉市を応援したい」という皆様の気持ちを、「**千葉市ふるさと応援寄附金**」として広く受け付けています。

本市出身や在住の方をはじめ、全国の「千葉市を応援したい！」という想いを、市の魅力を高める様々な取り組みに役立てますので、是非、応援をお願いします！



④ 第2期プランをすすめるとどうなるの？

市では、**真に市民の皆様が必要とする事業を引き続き推進し、将来にわたり自立し持続可能な都市**となることを目指しています。

そのためには、収入を増やすことや支出を減らすことだけでなく、借金の使い道を厳選しながらその残高を減らすことで、実質公債費比率や将来負担比率の低減などにも努め、**将来を見据えた財政運営**を行っていくことが重要です。(図表12・13)

これからも全庁一丸となって、議会や市民の皆様のご理解とご協力のもと、財政の健全化に向けて取り組んでいきます。

【図表12】主な取り組みの状況と目標

※数値はH25実績→H26実績→H29目標、で表記

■徴収対策を強化！

市税徴収率

94.6% → 95.7% → 96.2%

国民健康保険料徴収率

73.6% → 75.9% → 76.1%

■借金の使い道を厳選！

市債残高(全会計)

10,453億円

→ 10,314億円 → 10,050億円程度

(139億円削減) (H25末比で400億円以上削減)

H29プラン目標

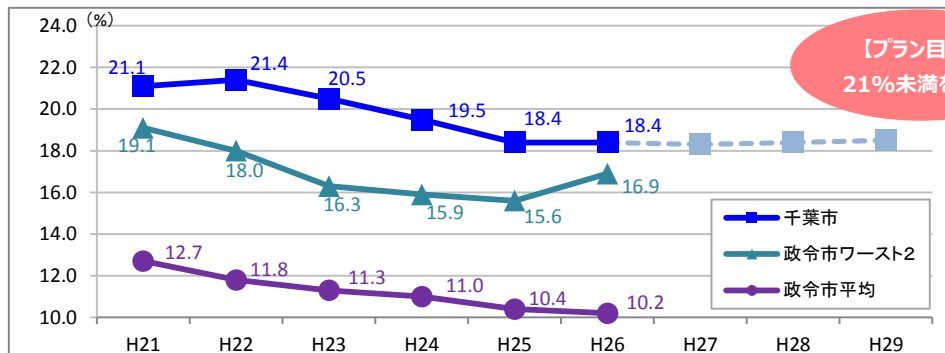
言葉は難しいけど、必要な制度は続けながら、財政の健全化はすすめている、ということはいえそうね。継続して頑張ってもらいたいわね！



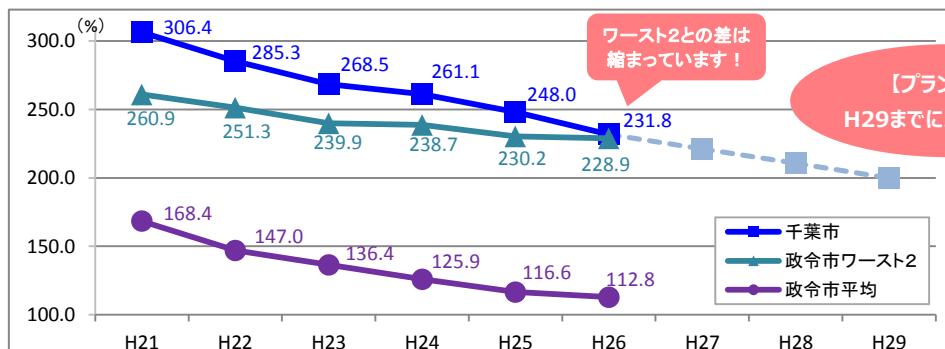
【図表13】実質公債費比率・将来負担比率の推移と目標

※政令市平均は千葉市を除く平均とし、H26の政令市平均・政令市ワースト2は速報値です。

<実質公債費比率>



<将来負担比率>



7 お問い合わせ先



	内容	担当課	電話番号
	本書全体に関すること	財政課	245-5077
P.3	宝くじに関すること	資金課	245-5074
P.4	高齢者の介護(介護保険制度)に関すること	介護保険課	245-5064
	健康づくりに関すること	健康支援課	238-9968
P.5	生活保護と自立支援に関すること	保護課	245-5165
	国民健康保険に関すること	健康保険課	245-5143
P.6	市立病院の運営に関すること	経営企画課	245-5744
	保育所・園の運営に関すること	保育運営課	245-5726
P.7	道路の維持管理に関すること	維持管理課	245-5389
	下水道の維持管理に関すること	下水道経営課	245-5407
P.8	ごみの処理に関すること	廃棄物対策課	245-5067
	消防・救急活動に関すること	消防局総務課	202-1664
P.9	救急車の適正利用に関すること	救急課	202-1657
P.10	待機児童解消に関すること	保育支援課	245-5100
P.11	救急ICT導入に関すること	救急課	202-1657
P.12	借金(市債)に関すること	資金課	245-5078
	道路延長に関すること	路政課	245-5374
	下水道処理人口普及率に関すること	下水道営業課	245-5411
P.13	貯金(基金)に関すること	資金課	245-5078
	資産と負債に関すること	財政課	245-5077
P.14	健全化判断比率に関すること	財政課	245-5077
P.15	財政健全化プランに関すること	資金課	245-5078
P.16	千葉市ふるさと応援寄附金に関すること		

※内容によっては、担当課が異なる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

あとがき

最後まで読んでいただきありがとうございます。

市の財政がどのような状況か、また、市民の皆様になめていただいた

大切な税金がどのように使われているか、少しでもご理解いただければ幸いです。

これからも、市の財政運営に、ご理解とご協力をお願いします。



平成27年10月作成

みんなの財政～平成26年度決算～

千葉市中央区千葉港1番1号

千葉市財政局財政部財政課

電話 043 (245) 5077

